

学校番号

T0206

## 令和2年度 情報科

教科	情報	科目	社会と情報	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	最新社会と情報 新訂版（実教出版）						
副教材等							

## 1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・情報社会で必要とされる基本的な技能について、実習を通して身につけましょう
- ・実習では授業のはじめに復習・説明をすることが多々あり、遅刻をすると授業内容を理解することが難しくなります
- ・技能として文書作成ソフト、表計算ソフトの基本的な活用法を習得しましょう
- ・座学では情報モラルや知的財産権をとおして、身近で注意しなければならない事を学びましょう
- ・日々の課題、実技テスト、筆記テストなどで学習の到達度をみます
- ・コンピュータ操作が苦手でも、前向きな姿勢を忘れずに取り組みましょう

## 2 学習の到達目標

- ・情報機器のしくみと、その活用方法を習得する
- ・文書作成ソフトで、社内文書やポスターの作成方法を習得する
- ・表計算ソフトで、表や関数、グラフの作成方法を習得する
- ・情報社会で活躍していくために必要となる情報モラル、知的財産権など社会で求められる基本的な技能・知識を習得する

## 3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a.関心・意欲・態度	b.思考・判断・表現	c.技能	d.知識・理解
観 点 の 趣 旨	情報の特徴と情報科が社会に果たす役割や及ぼす影響に関心を持ち、身の回りの問題を解決するために、情報機器や情報通信ネットワークを活用し、情報化社会に積極的に参画しようとする	情報や情報社会における身の回りの問題を解決するために、情報の特徴と情報化が社会に果たす役割と及ぼす影響について、思考を深め、適切に判断し表現している	情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するための技能を身につけ、効果的にコミュニケーションを行っている	情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集、処理、表現するための知識を身につけ、情報の特徴と情報化が社会に果たす役割と及ぼす影響を理解している
評 価 方 法	学習状況の観察 プリントの記述 実習作品 発表 相互評価・自己評価 等	学習状況の観察 プリントの記述 発表 定期考査の結果 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 実習作品 発表 実技テストの結果 等	学習状況の観察 プリントの記述 定期考査の結果 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。  
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

## 4 学習の活動

学期	内容	単元 (題材)	学習内容	主な評価の 観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
				a	b	c	d		
前期	情報機器の活用	○学校情報ネットワーク	<ul style="list-style-type: none"> <li>LAN 教室のルールと学校情報ネットワーク</li> <li>コンピュータの基礎操作(起動、停止、マウス操作など)</li> </ul>	○		○	○	a:ネットワーク、電子メール、個人情報の管理などに興味をもち、積極的に活用しようとしている。 b:電子メールの文面を作成する際にマナーを考えている。ID とパスワードの安全な管理方法を適切に判断している。 c:情報機器の基礎的な操作ができる。的確に電子メールを送受信することができる。 d:情報機器の活用を理解している。個人情報の重要性を認識し、理解している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>受講状況</li> <li>学習意欲</li> <li>実習取組</li> <li>プリント</li> <li>実技試験 1</li> <li>期末考査</li> </ul>
		○ネットワークと電子メール	<ul style="list-style-type: none"> <li>ネットワークと電子メール</li> </ul>	○	○	○			
		○個人情報の管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>IDとパスワード</li> </ul>	○	○		○		
前期	情報機器の機能と接続	○情報機器の装置と機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>コンピュータの各装置とその機能</li> <li>ハードウェアとソフトウェア</li> </ul>	○		○	○	a:コンピュータの装置と機能とインタフェースについて関心を持ち、学習に積極的に取り組もうとしている。 b:インタフェースの使用場面と活用方法について考えることができる。 c:ハードウェアとソフトウェアなどについて調べてまとめることができる。 d:コンピュータの機能とインタフェースについて、理解している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>受講状況</li> <li>学習意欲</li> <li>実習取組</li> <li>プリント</li> <li>実技試験 1</li> <li>期末考査</li> </ul>
		○情報機器の接続規格	<ul style="list-style-type: none"> <li>インタフェース</li> </ul>	○	○		○		
		○文書作成ソフトの利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>ソフトの各部名称と基本操作(文書入力、保存と読み込み、ページ設定、移動、コピー、削除、サイズの変更、下線、網掛けなど)</li> <li>社内文書の構成</li> <li>表の挿入と設定</li> <li>イラストや写真の入った文書</li> <li>ポスター作成</li> </ul>	○	○	○	○	a:文書作成ソフトと社内文書について関心を持ち、前向きな態度で実習に取り組もうとしている。 b:文書作成ソフトを状況に応じて効果的に活用する方法を考えることができる。ポスターのテーマを考え、内容を適切に表現することができる。 c:文書作成ソフトを活用し、的確に課題内容を作成することができる。社内文書を作成することができる。 d:文書作成ソフトの操作方法を理解している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>受講状況</li> <li>学習意欲</li> <li>実習取組</li> <li>プリント</li> <li>実技試験 1</li> <li>実技試験 2</li> <li>実技試験 3</li> <li>期末考査</li> </ul>
		○情報の活用とコンピュータ							



学校番号

T0206

## 令和2年度 情報科

教科	情報	科目	情報の科学	単位数	2単位	年次	4年次
使用教科書	最新情報の科学 新訂版（実教出版）						
副教材等							

## 1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・ 情報社会で必要とされる応用的な技能について、実習を通して身につけましょう
- ・ 実習では授業のはじめに復習・説明をすることが多々あり、遅刻をすると授業内容を理解することが難しくなります
- ・ 技能として、文書作成ソフト、表計算ソフトの応用的な活用法とプログラム言語を習得しましょう
- ・ 座学では情報の適切な扱い方や表現方法、情報機器における処理の仕組みを学びます
- ・ 情報機器を判断の根拠として有効に活用できるようにしましょう
- ・ 日々の課題、実技テスト、筆記テストなどで学習の到達度をみます

## 2 学習の到達目標

- ・ 情報の適切な扱い方や表現方法、情報機器における処理の仕組みを理解する
- ・ 情報社会を支える情報技術の役割や影響を理解し、問題解決において情報機器を適切に活用するための科学的な考え方や方法を習得する
- ・ アルゴリズムを理解・実践し、物事の論理的な考え方を養う
- ・ プログラム言語の構成を理解し、自らWebページを作成できるようになる

## 3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a.関心・意欲・態度	b.思考・判断・表現	c.技能	d.知識・理解
観 点 の 趣 旨	情報社会を支える情報や情報技術の役割や影響に関心を持ち、問題を解決するために、情報及び情報技術を活用し、情報社会の発展に寄与しようとする	問題の解決に向けて情報及び情報技術を活用し、科学的・論理的な考え方を生かし、最適化へ向けて思考を深め、適切に判断し表現している	情報及び情報技術を問題の解決に向けて効果的に活用するための技能を身に付け、効果的に活用している	情報及び情報技術を問題の解決に効果的に活用するための知識を身に付け、情報社会を支える情報と情報技術の役割や影響、利便性・危険性について理解している
評 価 方 法	学習状況の観察 プリントの記述 実習作品 発表 相互評価・自己評価 等	学習状況の観察 プリントの記述 発表 定期考査の結果 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 実習作品 発表 実技テストの結果 等	学習状況の観察 プリントの記述 定期考査の結果 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

## 4 学習の活動

学期	内容	単元 (題材)	学習内容	主な評価の 観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
				a	b	c	d		
前期	情報機器の活用	○学校情報ネットワーク	・学校情報ネットワーク	○		○	○	a:ネットワーク、電子メールなどに興味をもち、積極的に活用しようとしている。コンピュータウィルスの危険性と対処法について関心を持っている。 b:電子メールの文面を作成する際にマナーを考えている。IDとパスワードの安全な管理方法を適切に判断している。 c:Web ブラウザを使用してWebを閲覧することができる。的確に電子メールを送受信することができる。 d:ID、パスワードなどの個人情報の重要性を認識し、理解している。インターネットとWWWの基礎と注意点を理解している。	・受講状況 ・学習意欲 ・実習取組 ・プリント ・実技試験 1 ・期末考査
		○ネットワークと電子メール	・インターネットとWWW ・Web ブラウザ ・電子メール ・コンピュータウィルス	○	○	○	○		

問題解決とコンピュータの活用	○問題解決における手順とコンピュータの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題解決の手順</li> <li>・情報収集と信頼性</li> <li>・情報の整理と伝達</li> <li>・問題解決策の選択と発信</li> <li>・情報発信の重要性と注意点</li> </ul>	○	○	○	○	<p>a:フローチャートの作成に意欲を持って取り組もうとしている。積極的にフローチャートを元にした課題に取り組もうとしている。身近な問題に関心を持ち、解決に向けて取り組もうとしている。コンピュータと人間との関わりに関心を持ち、学習に積極的に取り組もうとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受講状況</li> <li>・学習意欲</li> <li>・実習取組</li> <li>・プリント</li> <li>・実技試験2</li> <li>・実技試験3</li> <li>・期末考査</li> </ul>
	○アルゴリズム	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フローチャートの基礎</li> <li>・フローチャートの活用</li> </ul>	○	○		○	<p>b:問題解決に向けて最適化された手順を考えることができる。適切な問題解決策の選択することができる。コンピュータの利点を踏まえた活用方法と、人間との関わりについて考えることができる。</p>	
	○表計算ソフトの応用的活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・表計算ソフトを用いたフローチャートの実践</li> </ul>	○		○	○	<p>c:問題の解決に向けて最適化されたフローチャートを作成することができる。コンピュータを使用して情報収集と整理をすることができる。注意点に留意して情報発信をすることができる。</p>	
	○コンピュータによる情報処理の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピュータの処理手順</li> <li>・コンピュータと人間との関わり</li> </ul>	○	○		○	<p>d:問題の解決に向けた最適化の方法・手順を理解している。問題解決の手順、情報の信頼性について理解している。コンピュータが行う処理手順構造を理解している。基本的なアルゴリズムを理解している。</p>	

後 期	情報社会と情報技術	○情報通信と計測・制御技術	・ネットワークの仕組み ・電化製品や通信技術の発達 ・情報通信と計測・制御	○	○	○	a:ネットワークの仕組み、身の回りにある電化製品や通信技術の発達などについて関心を持ち、前向きな態度で学習に取り組もうとしている。情報システムの安全性、情報機器の使いやすさなどについて関心を持ち、積極的に情報機器を活用しようとしている。ウェブページを活用した情報発信に関心を持ち、前向きな態度で実習に取り組もうとしている。	・受講状況 ・学習意欲 ・実習取組 ・プリント ・実技試験4 ・実技試験5 ・期末考査
		○情報技術における人間への配慮	・情報技術の目指すもの ・情報システムの安全性 ・情報機器の使いやすさ	○	○	○	b:情報通信と計測・制御の関わりを的確に考察し、表現している。情報技術の目標、情報システムの安全性、情報機器の使いやすさについて考察し、表現している。情報技術とコミュニケーションの関連性について、的確に考察することができる。	
		○情報技術の進展が社会に及ぼす影響	・社会における情報技術 ・情報の収集と発信 ・知的財産権 ・情報技術とコミュニケーション	○	○	○	c:情報機器の使いやすさと工夫における手段、社会における情報技術の利用について、身近なものに関連付けて情報収集することができる。知的財産権を意識しながら適切な情報収集を行うことができる。HTML言語の活用し、ウェブページを作成し発信することができる。	
		○ウェブページの作成	・HTML 言語の記述手法 ・タグの基礎 ・ウェブページの作成 ・情報発信の重要性と注意点	○	○	○	d:情報通信、情報技術、知的財産権などについて理解している。体験的な学習から、情報発信の重要性と注意点についての理解を深めることができる。	

※表中の観点について a: 関心・意欲・態度      b: 思考・判断・表現  
c: 技能      d: 知識・理解

※原則として、一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について、優先度の高いものに○をつけている。

## 令和2年度 情報科

教科	(専) 情報	科目	情報の表現と管理	単位数	2単位	年次	3～4年次
使用教科書	情報の表現と管理 (実教出版)						
副教材等							

## 1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

- ・情報機器を使って情報を伝達、表現する技術を身につけましょう
- ・インターネット、画像編集ソフト、プレゼンテーションソフトの活用方法を習得しましょう
- ・自発的な活動や体験を通して表現力を伸ばすとともに、授業内でのグループ発表、全体発表をする機会を通して、プレゼンテーション手法を習得し、コミュニケーションスキルをつけましょう
- ・実習では授業のはじめに復習・説明をすることが多々あり、遅刻をすると授業内容を理解することが難しくなります
- ・座学では情報をよりの確に伝達する手法について詳しく学びましょう
- ・日々の課題、実技テスト、筆記テストなどで学習の到達度をみます

## 2 学習の到達目標

- ・情報機器のしくみと、その活用方法を習得する
- ・情報を表現する際に必要となる知識と技術を習得する
- ・的確に情報を表現する能力を伸ばし、情報化社会で活躍していくために必要となる技能を習得する
- ・発表を通してコミュニケーションスキルをつける

## 3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a.関心・意欲・態度	b.思考・判断・表現	c.技能	d.知識・理解
観 点 の 趣 旨	情報や情報社会に関心をもち、身の回りの問題を解決するために、自ら進んで情報及び情報技術を活用し、社会の情報科の進展に主体的に対応しようとする	情報や情報社会における身の回りの問題を解決するために、情報に関する科学的な見方や考え方を活かすとともに情報モラルを踏まえて、思考を深め、適切に判断し表現している	情報及び情報技術を活用するための応用的・発展的な技能を身に付け、目的に応じて情報及び情報技術を適切に扱っている	情報及び情報技術を活用するための応用的・発展的な知識を身に付け、社会における情報及び情報技術の意義や役割を理解している
評 価 方 法	学習状況の観察 プリントの記述 実習作品 発表 相互評価・自己評価 等	学習状況の観察 プリントの記述 発表 定期考査の結果 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 実習作品 発表 実技テストの結果 等	学習状況の観察 プリントの記述 定期考査の結果 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

## 4 学習の活動

学期	内容	単元 (題材)	学習内容	主な評価の 観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
				a	b	c	d		
前期	情報機器の活用とメディア	○メディアの種類と特性	・メディアの種類とその特性 ・情報の質とメディアの関係	○		○	○	a:メディアなどに興味をもち、情報社会に参画しようとしている。コミュニケーションについて関心を持ち、意欲的に発表しようとする態度がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受講状況</li> <li>・学習意欲</li> <li>・実習取組</li> <li>・プリント</li> <li>・実技試験1</li> <li>・実技試験2</li> <li>・実技試験3</li> <li>・期末考査</li> </ul>
		○コミュニケーションの基礎	・コミュニケーションの重要性 ・コミュニケーションを成立させるための要件 ・コミュニケーションの種類とその特性 ・言語を必要としないコミュニケーション ・口頭説明、文書作成およびボディーランゲージの技法 ・マルチメディアを利用したコミュニケーション手法	○	○	○	○	b:コミュニケーションを成立させるための要件を考え、適切なコミュニケーション手段を選択している。 c:口頭説明、文書作成およびボディーランゲージの技法、マルチメディアを利用したコミュニケーション手法を体験的に身につけている。 d:メディアの種類とその特性、情報の質とメディアの関係を理解している。コミュニケーションの重要性、コミュニケーションの種類とその特性などを理解している。	
前期	情報発信の基礎	○情報通信ネットワークを活用した情報発信	・インターネットの概要とその仕組み ・イントラネット ・グループウェア ・Web ページの検索・保存方法	○	○	○	○	a:情報通信ネットワークについて関心を持ち、学習に積極的に取り組もうとしている。ユニバーサルデザインを基準とした情報の表現方法を積極的に取り入れようとしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受講状況</li> <li>・学習意欲</li> <li>・実習取組</li> <li>・プリント</li> <li>・実技試験1</li> <li>・実技試験2</li> <li>・実技試験3</li> <li>・期末考査</li> </ul>
		○情報の表現	・コンピュータにおける数値、文字、画像、音声、色の表現	○	○	○	○	b:インターネットなどにある多くの情報から、信頼・判断できるものを的確に選択することができる。 c:グループウェアの機能を活用することができる。Web ページの検索・保存をすることができる。ユニバーサルデザインの考え方を表現方法に組み込むことができる。 d:インターネットの概要とその仕組みを理解している。基本的なユニバーサルデザインの考え方を理解している。	

